

# かかりつけ薬剤師の機能発揮 調剤基本料別の技術料算定状況 —社会医療診療行為別統計—

一般社団法人 日本保険薬局協会  
医療制度検討委員会

2019年8月

社会医療診療行為別統計とは、

医療保険制度における医療の給付の受給者に係る診療行為の内容、調剤行為の内容、薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的として、**毎年、6月審査分の状況を公表しています。**

統計表では診療行為(内科・歯科)・調剤行為の状況、薬剤の使用状況の結果を回数・点数別等で提供しています。

URL : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450048&tstat=000001029602>

# 1. かかりつけ薬剤師の機能発揮

- 技術料の算定実績推移
- かかりつけ薬剤師としての機能発揮

# 2. 調剤基本料別の技術料算定状況

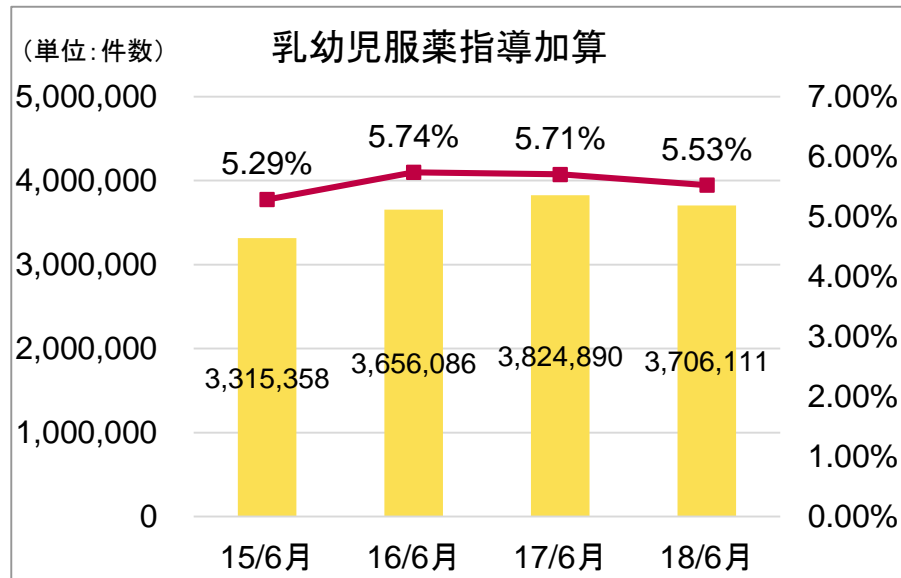
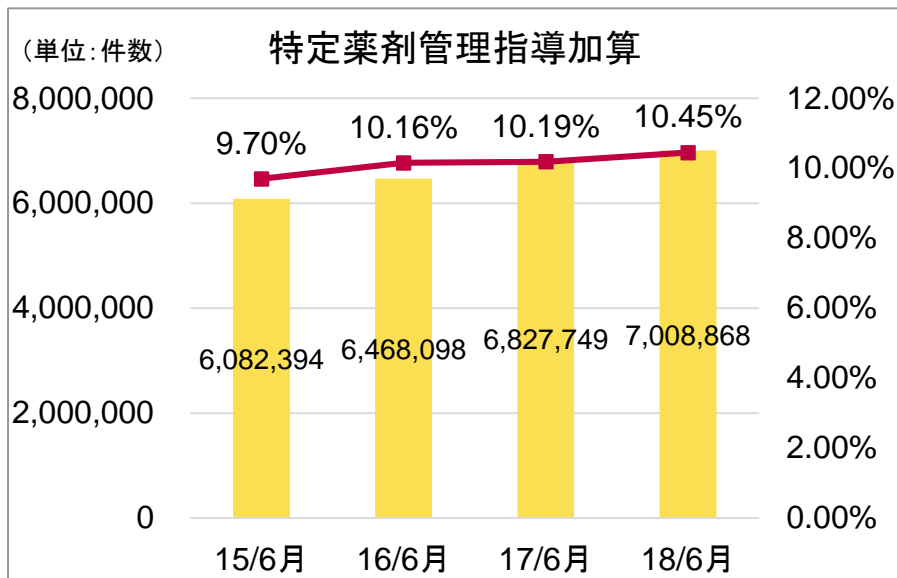
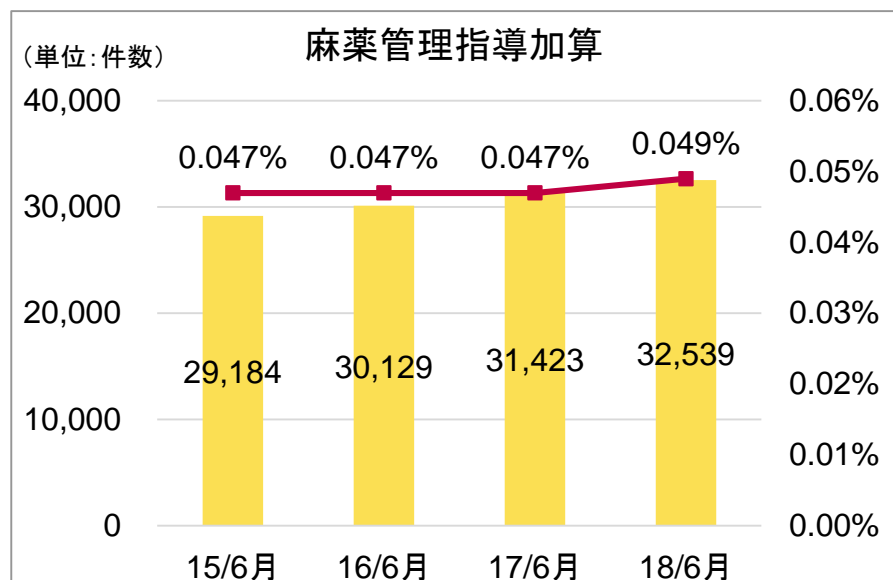
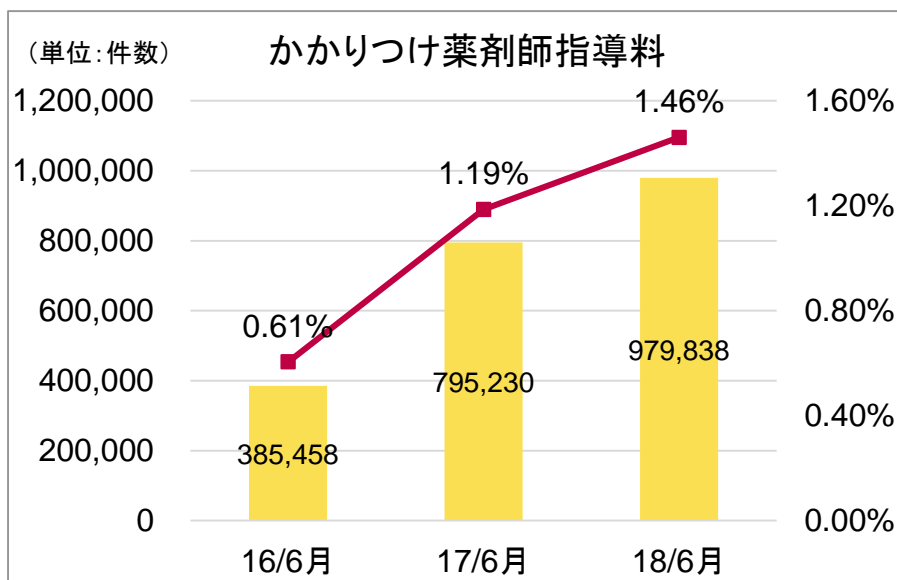
- 調剤基本料別の技術料算定状況
- 厚生局届出状況(前回7月のリマインド)

# 3. 参考

- 調剤基本料の推移
- 基準調剤、地域支援体制加算の推移

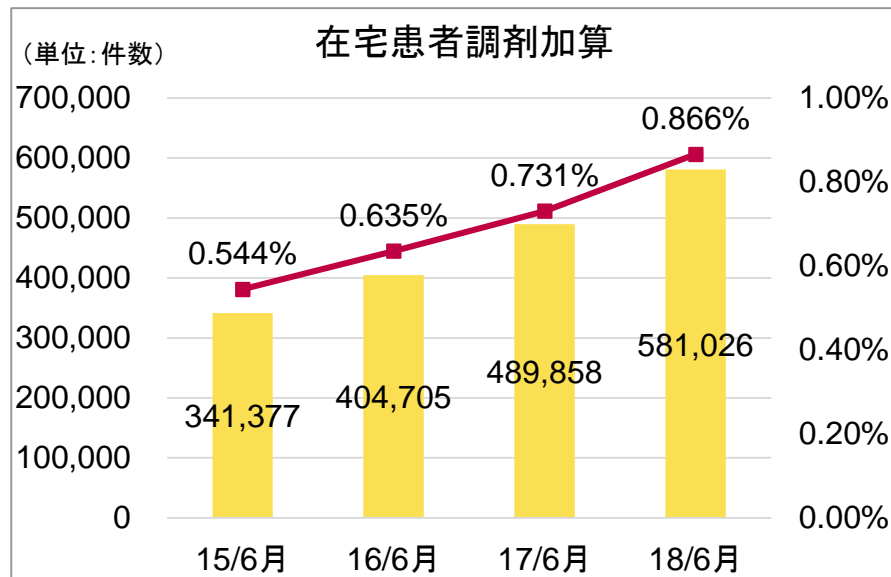
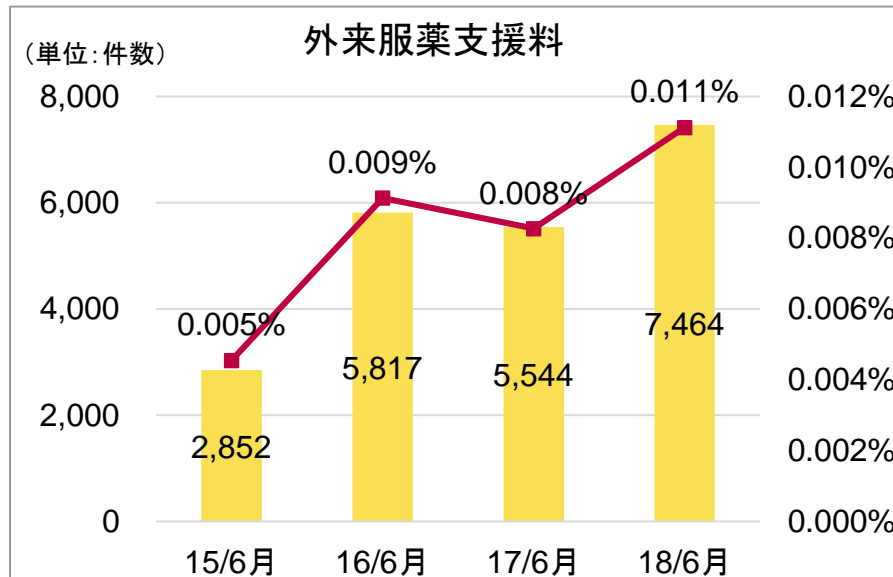
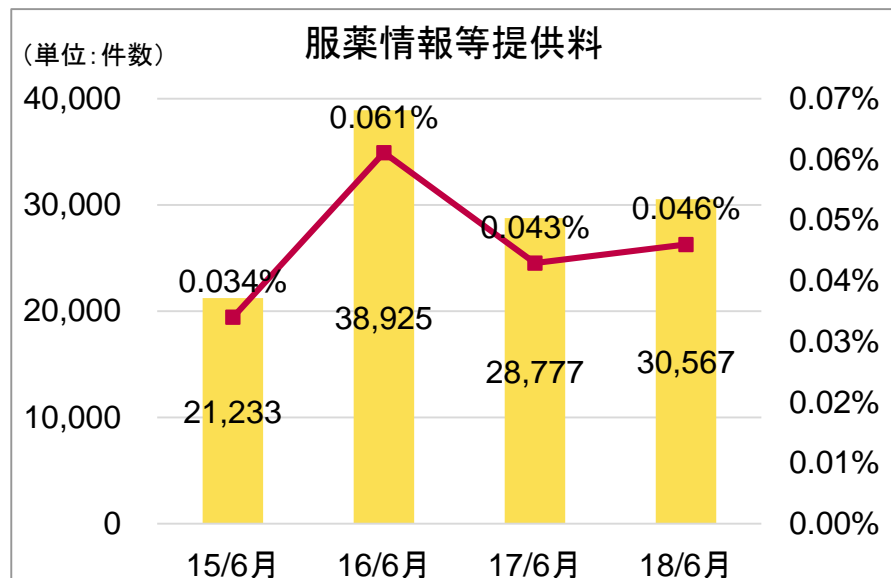
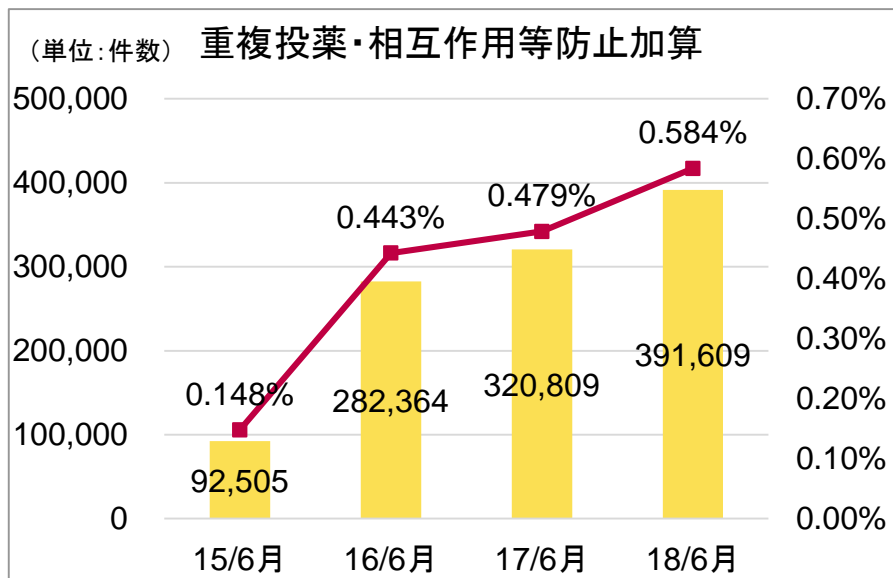
# 技術料の算定実績推移 1

■ 算定件数 ■ 算定率



# 技術料の算定実績推移 2

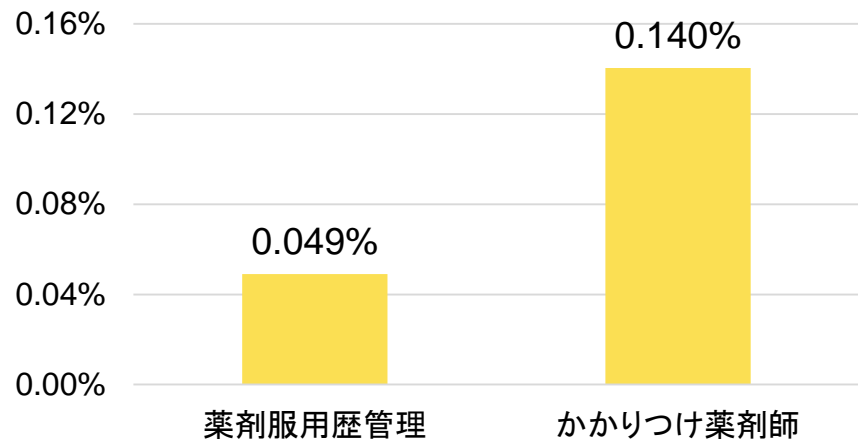
■ 算定件数 ■ 算定率



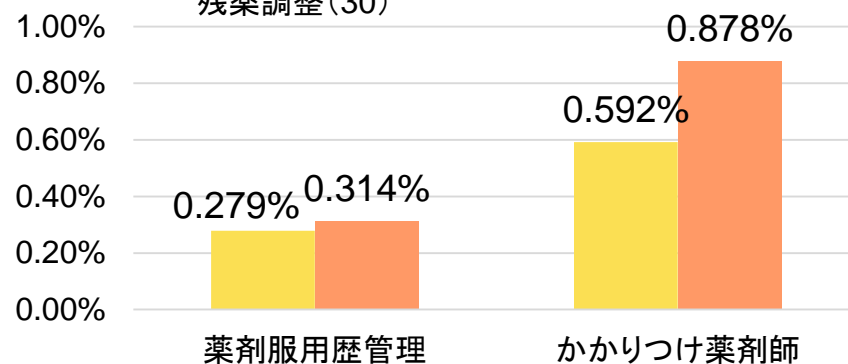
# かかりつけ薬剤師としての機能発揮 -2018年6月-

■ 算定率

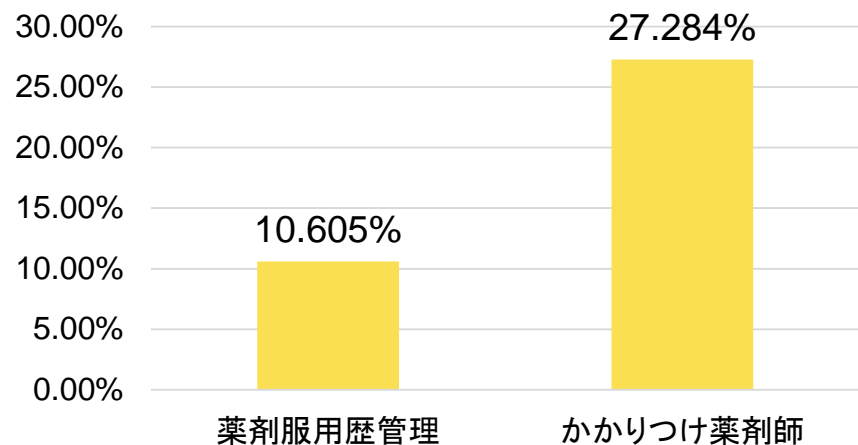
## 麻薬管理指導加算算定率



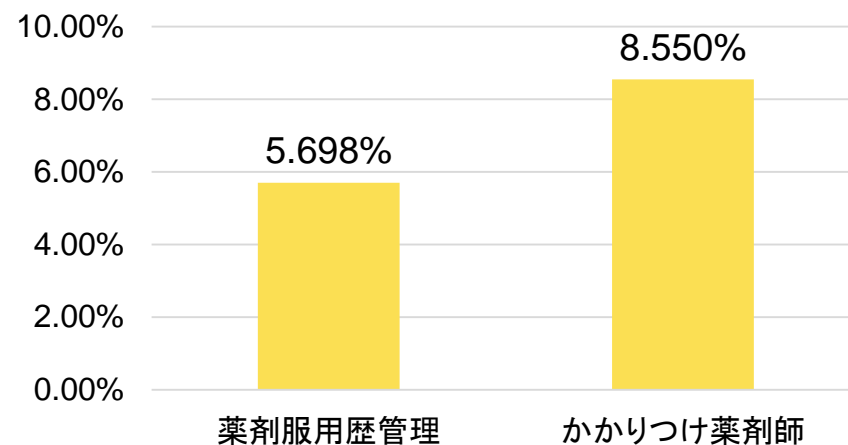
■ 重複投薬・相互作用等防止加算算定率  
残薬調整以外(40)  
■ 重複投薬・相互作用等防止加算算定率  
残薬調整(30)



## 特定薬剤管理指導加算算定率



## 乳幼児服薬指導加算算定率



## 1. かかりつけ薬剤師の機能発揮

- 技術料の算定実績推移
- かかりつけ薬剤師としての機能発揮

## 2. 調剤基本料別の技術料算定状況

- 調剤基本料別の技術料算定状況
- 厚生局届出状況(前回7月のリマインド)

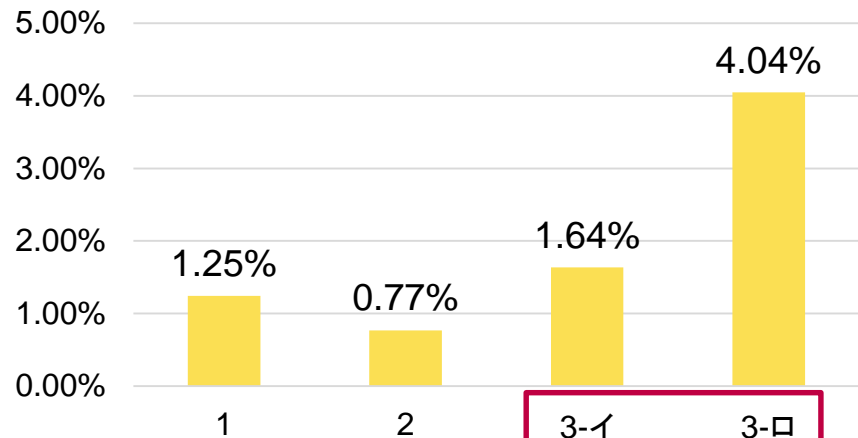
## 3. 参考

- 調剤基本料の推移
- 基準調剤、地域支援体制加算の推移

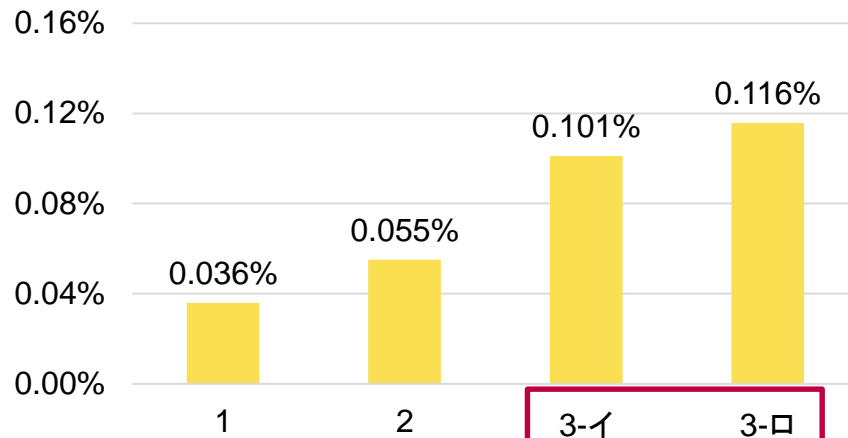
調剤基本料3の薬局の方が各種技術料の算定率が高い傾向である。

■ 算定率

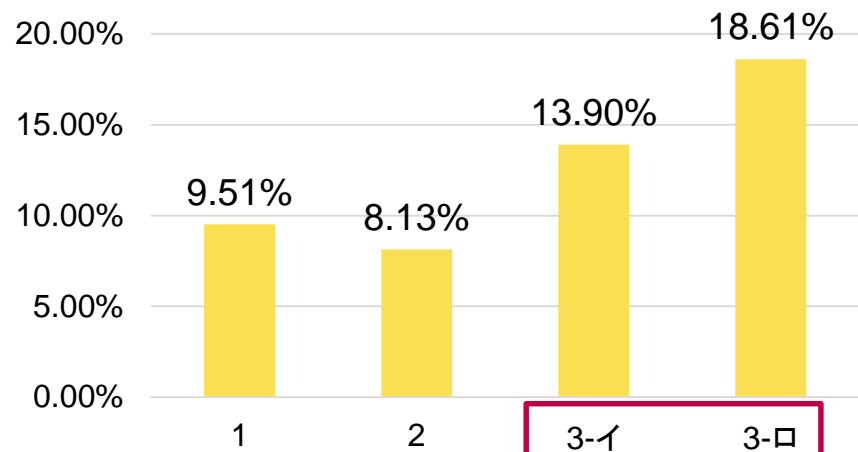
かかりつけ薬剤師指導料算定率



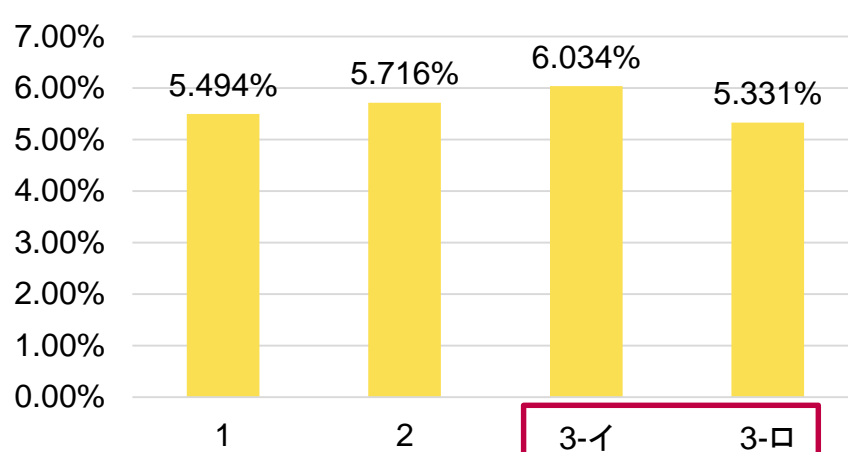
麻薬管理指導加算算定率



特定薬剤管理指導加算算定率



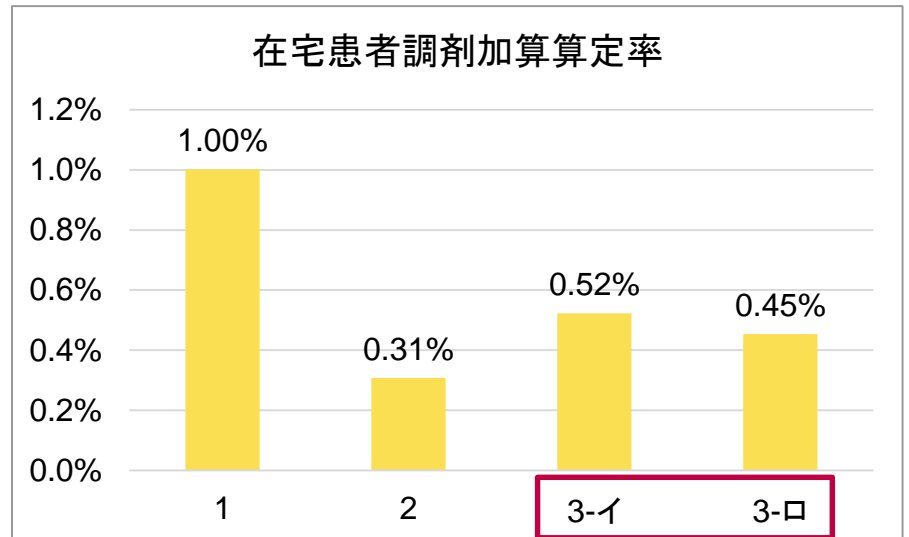
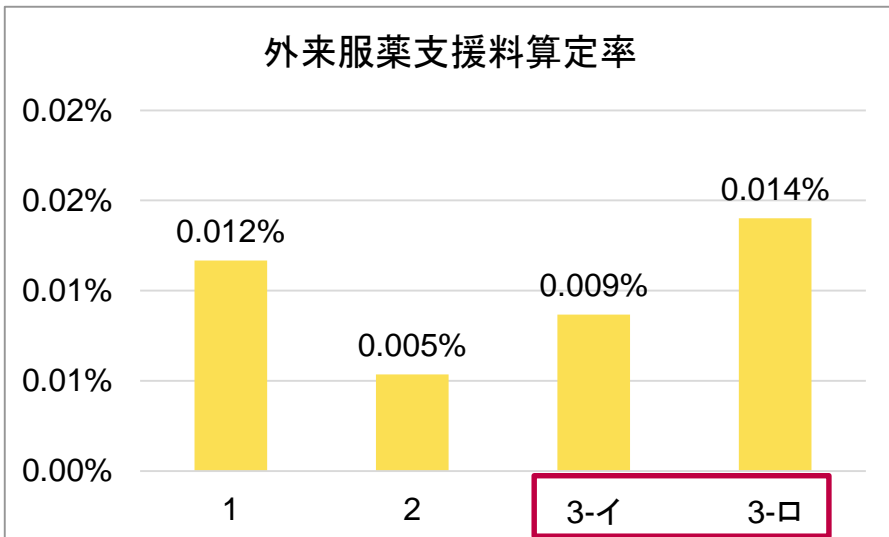
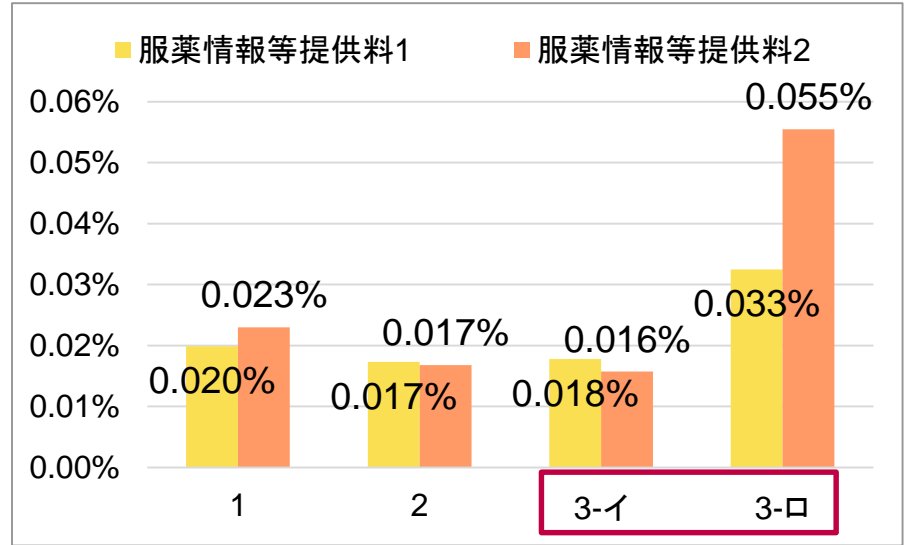
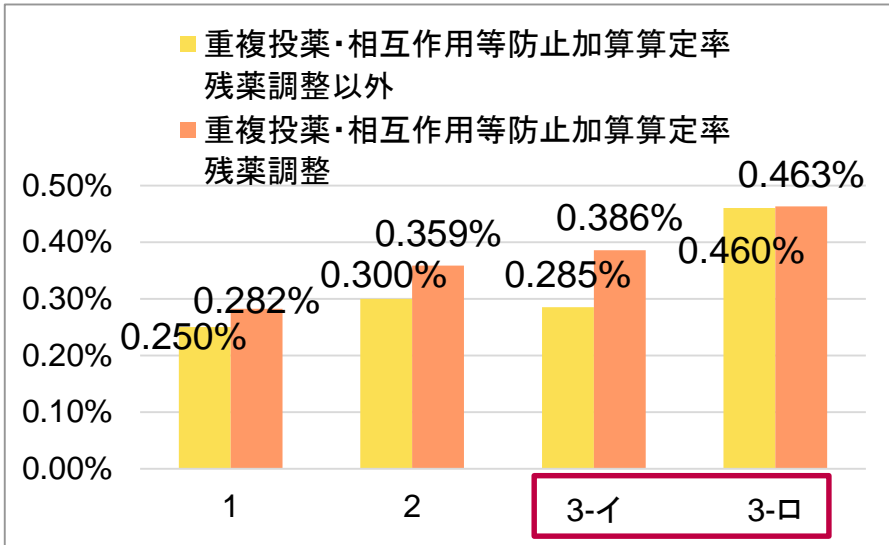
乳幼児服薬指導加算算定率





調剤基本料3の薬局の方が各種技術料の算定率が高い傾向である。

■ 算定率



## 1. かかりつけ薬剤師の機能発揮

薬局薬剤師に求められる機能のうち、調剤報酬にて評価されている各種技術料の算定実績に関しては、かかりつけ薬剤師指導料や重複投薬・相互作用等防止加算をはじめ、概ね、**年々増加傾向**である。

また、**かかりつけ薬剤師指導料を算定している患者に対しては**、薬剤服用歴管理指導料を算定している場合と比較して、麻薬管理指導加算、重複投薬・相互作用等防止加算、特定薬剤管理指導加算、乳幼児服薬指導加算のすべてにおいて、**算定率が優位に高い**。このことから、**かかりつけ薬剤師を推進し、患者との信頼関係を築くことで、薬局薬剤師に求められる機能を果たすことに繋がる**。よって、引き続き、かかりつけ薬剤師・薬局を中心とした機能強化が求められる。

## 2. 調剤基本料別の技術料算定状況

「厚生局届出状況」の分析結果同様、**調剤基本料1以外の薬局の方が**、かかりつけ薬剤師指導料や重複投薬・相互作用等防止等、**各種技術料の算定実績が高く**、かかりつけ薬剤師、在宅医療、医療連携等、現在、**薬局に求められている機能において積極的に取り組んでいる**。

これらのことを踏まえると、地域支援体制加算が、実際に、「地域に貢献している調剤基本料1以外の薬局」に8要件の制限を課し、「実績がなくとも調剤基本料1の薬局」であれば無条件に算定できるというのは公正ではない。**調剤基本料1と、それ以外の薬局を区別することなく、各薬局、薬剤師が果たしている機能に応じた評価、報酬体系であるべきである**。

## 2020年改定要望書(一部抜粋)

### (総論的事項)

調剤基本料においては、2016年に薬局グループ単位の概念が導入、2018年にはこの概念がさらに拡充され、一定規模以上の薬局グループのみをターゲットとした減算の流れが続いている。この流れによって、プラス改定を維持されてきた調剤報酬では、過去2回の改定において一定規模以上の薬局グループのみ、マイナス改定が続いている。また、同じサービスでも薬局や、薬局グループが異なれば多様な価格が存在し、患者やその家族にとって、非合理的で複雑な体系となっている。

また、2018年に新設された地域支援体制加算においては、調剤基本料1以外の薬局には、かかりつけ薬剤師に関連した8つの高い実績要件が設けられ、一方の調剤基本料1の薬局には設けられていない。しかし、**実際には、かかりつけ薬剤師、在宅医療といった機能においては、調剤基本料1以外の薬局の方が、積極的に取り組んでいる状況が伺える。実際にかかりつけ薬剤師機能や在宅医療の機能を果たし、地域に貢献している調剤基本料1以外の薬局が算定できず、実績がなくとも調剤基本料1の薬局であれば算定できるというのは、公正であるとは言い難い。**

# 調剤基本料別 厚生局届出状況 -2019年5月-

薬局・薬剤師の機能であるかかりつけ薬剤師および在宅推進においては、調剤基本料1以外の薬局の方が積極的な取り組み状況が伺える。

調剤基本料	薬局数	地域支援体制	GE変更率 *1		かかりつけ薬剤師届出	在宅年間10件以上 *2
			80%以下	80%以上		
1	48,609	16,051	25,894	22,715	25,450	13,181
	構成比	33.0%	53.3%	46.7%	<b>52.4%</b>	<b>27.1%</b>
2	1,685	4	814	871	978	436
	構成比	0.24%	48.3%	51.7%	<b>58.0%</b>	<b>25.9%</b>
3-イ	3,296	3	1,455	1,841	1,963	1,110
	構成比	0.09%	44.1%	55.9%	<b>59.6%</b>	<b>33.7%</b>
3-ロ	3,854	18	1,393	2,461	2,795	1,968
	構成比	0.47%	36.1%	63.9%	<b>72.5%</b>	<b>51.1%</b>
全国	57,444	16,076	29,559	27,888	31,186	16,695
	構成比	28.0%	51.5%	48.5%	54.3%	29.1%

- ▶ 2019年5月時点 厚生局届出情報よりNPhA集計
- ▶ 未届けによる「特別基本料」と、医療機関との契約等による「特別基本料」とが分類できないため、「特別基本料」の薬局は除く。
- ▶ \*1 80%以上は、GE調剤体制加算2もしくは3の届出している薬局数、80%以下は同加算1の届出している薬局もしくは、届出していない薬局数
- ▶ \*2 在宅調剤加算の届出をしている薬局数

## 1. かかりつけ薬剤師の機能発揮

- 技術料の算定実績推移
- かかりつけ薬剤師としての機能発揮

## 2. 調剤基本料別の技術料算定状況

- 調剤基本料別の技術料算定状況
- 厚生局届出状況(前回7月のリマインド)

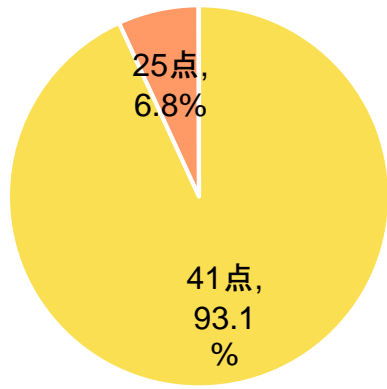
## 3. 参考

- 調剤基本料の推移
- 基準調剤、地域支援体制加算の推移

# 調剤基本料別構成比の推移

過去2回の改定において一定規模以上の薬局グループのみ、調剤基本料の引き下げが続いている。また、それにより多様な価格帯が存在している。

2015年6月

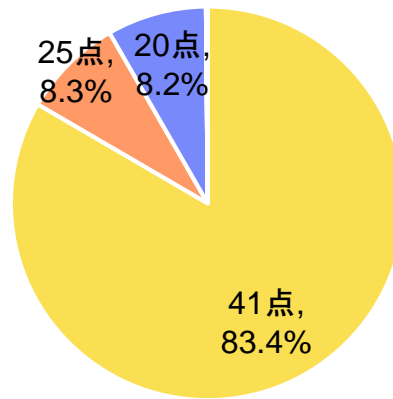


■ 41点 ■ 25点

■ 41点  
特例に該当しない薬局

■ 25点(特例)  
4,000回超 集中度70%超 or  
2,500回超 集中度90%超

2016年6月



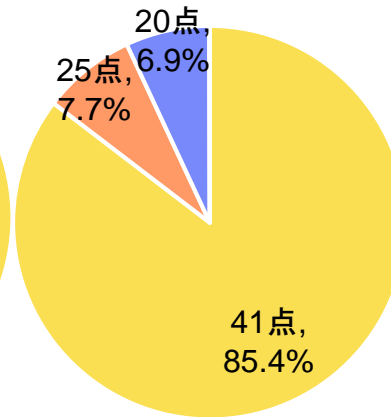
■ 41点 ■ 25点 ■ 20点

■ 41点(基本料1)  
下記以外

■ 25点(基本料2)  
4,000回超 集中度70%超 or  
2,500回超 集中度90%超

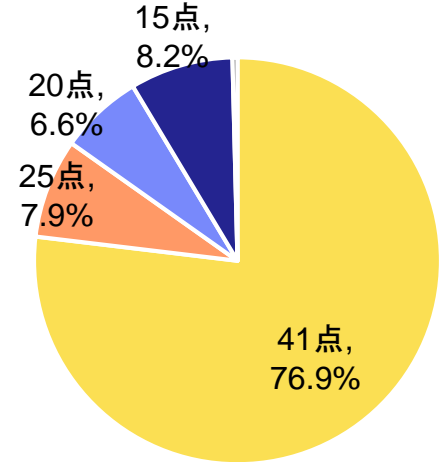
■ 20点(基本料3)  
同一グループ4万回/月超  
集中度95%超 or 賃貸借契約

2017年6月



■ 41点 ■ 25点 ■ 20点

2018年6月



■ 41点 ■ 25点 ■ 20点 ■ 15点 ■ 10点

■ 41点(基本料1)  
下記以外

■ 25点(基本料2)  
4,000回超 集中度70%超 or 2,000回超  
集中度85%超 or 特定病院4,000回超

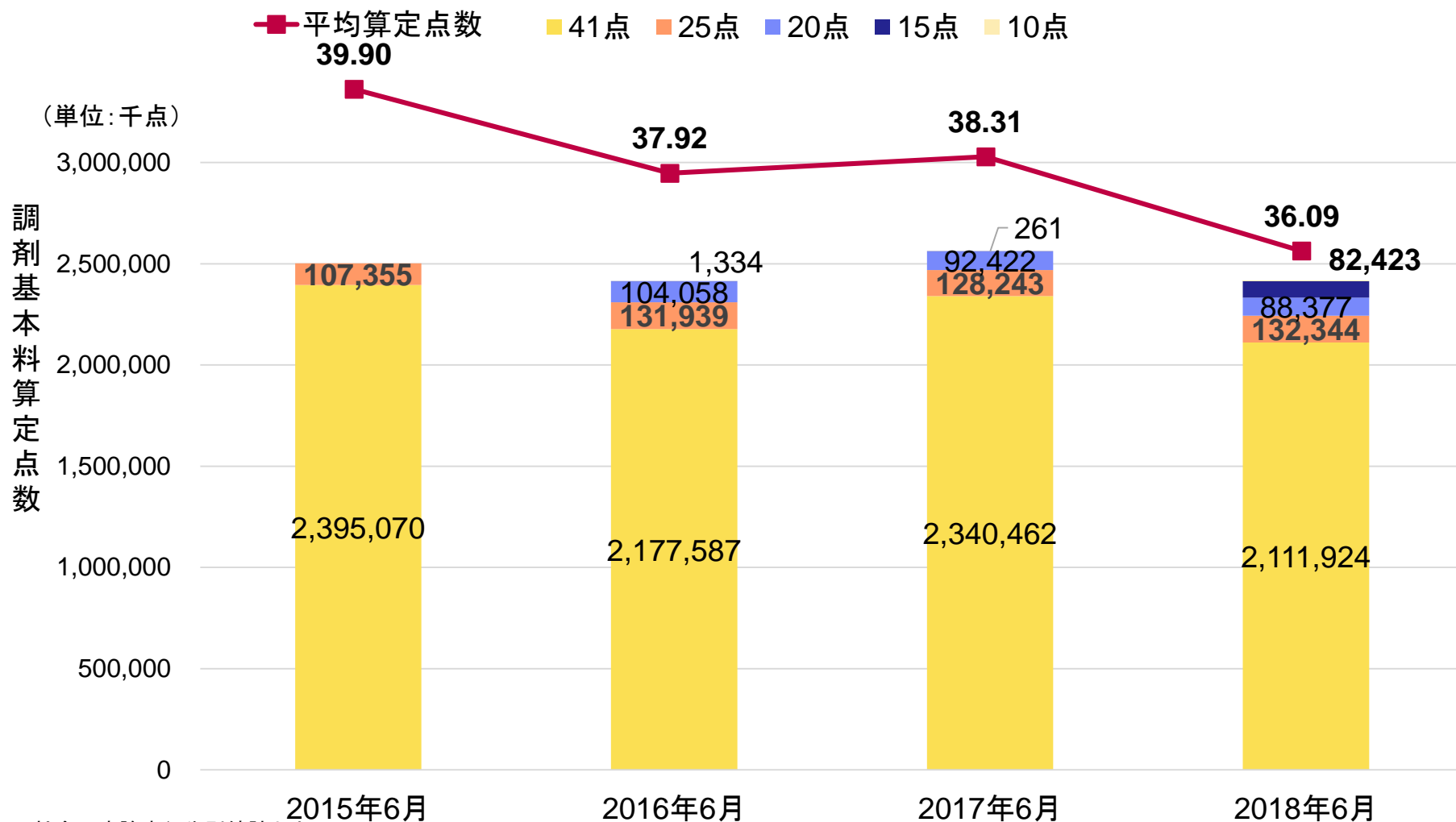
■ 20点(基本料3-イ)  
同一グループ4万回/月超  
集中度85%超 or 賃貸借契約

■ 15点(基本料3-ロ)  
同一グループ40万回/月超  
集中度85%超 or 賃貸借契約

■ 10点(特別)  
同一敷地内(賃貸借等)集中度95%超

# 調剤基本料点数の推移

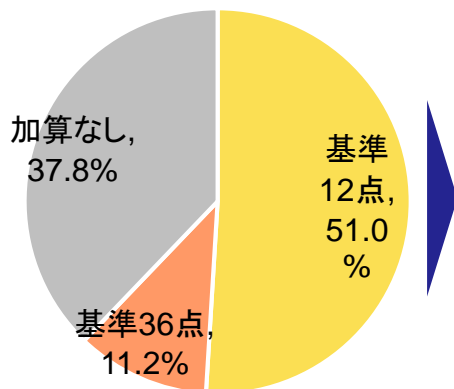
一定規模以上の薬局グループのみを対象とした調剤基本料の引き下げにより、調剤基本料の平均算定点数も下がっている。



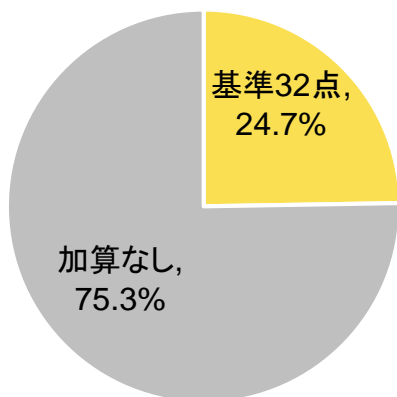
# 基準・地域支援加算構成比の推移

基準調剤や地域支援体制加算の要件には薬局に求められる機能が追加されてきたが、ほぼ調剤基本料1にのみ加算される報酬体系となっている。

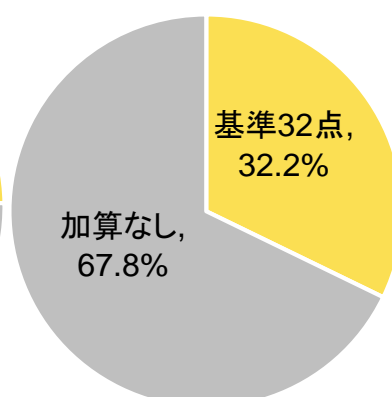
2015年6月



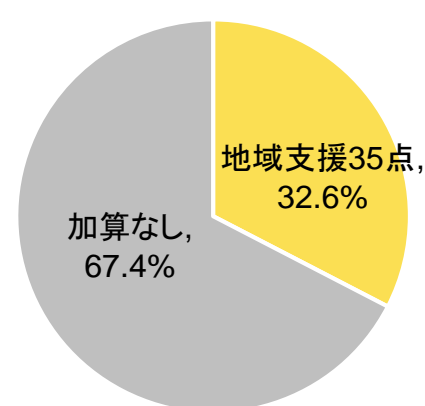
2016年6月



2017年6月



2018年6月



■ 基準12点 ■ 基準36点 ■ 加算なし

■ 基準調剤加算1 12点  
基本料41点 在庫700品目  
24h輪番 麻薬免許 等

■ 基準調剤加算2 36点  
基本料41点 在庫1,000品目  
600回超 集中度70%以下  
24h単独 麻薬免許 在宅10件  
等

■ 基準32点 ■ 加算なし

■ 基準調剤加算 32点  
基本料41点 在庫1,200品目 24h輪番  
麻薬免許 在宅1件 かかりつけ薬剤師届出  
管理薬剤師(薬局経験5年・在籍1年・週32h)  
等

■ 基準32点 ■ 加算なし

■ 地域支援35点 ■ 加算なし

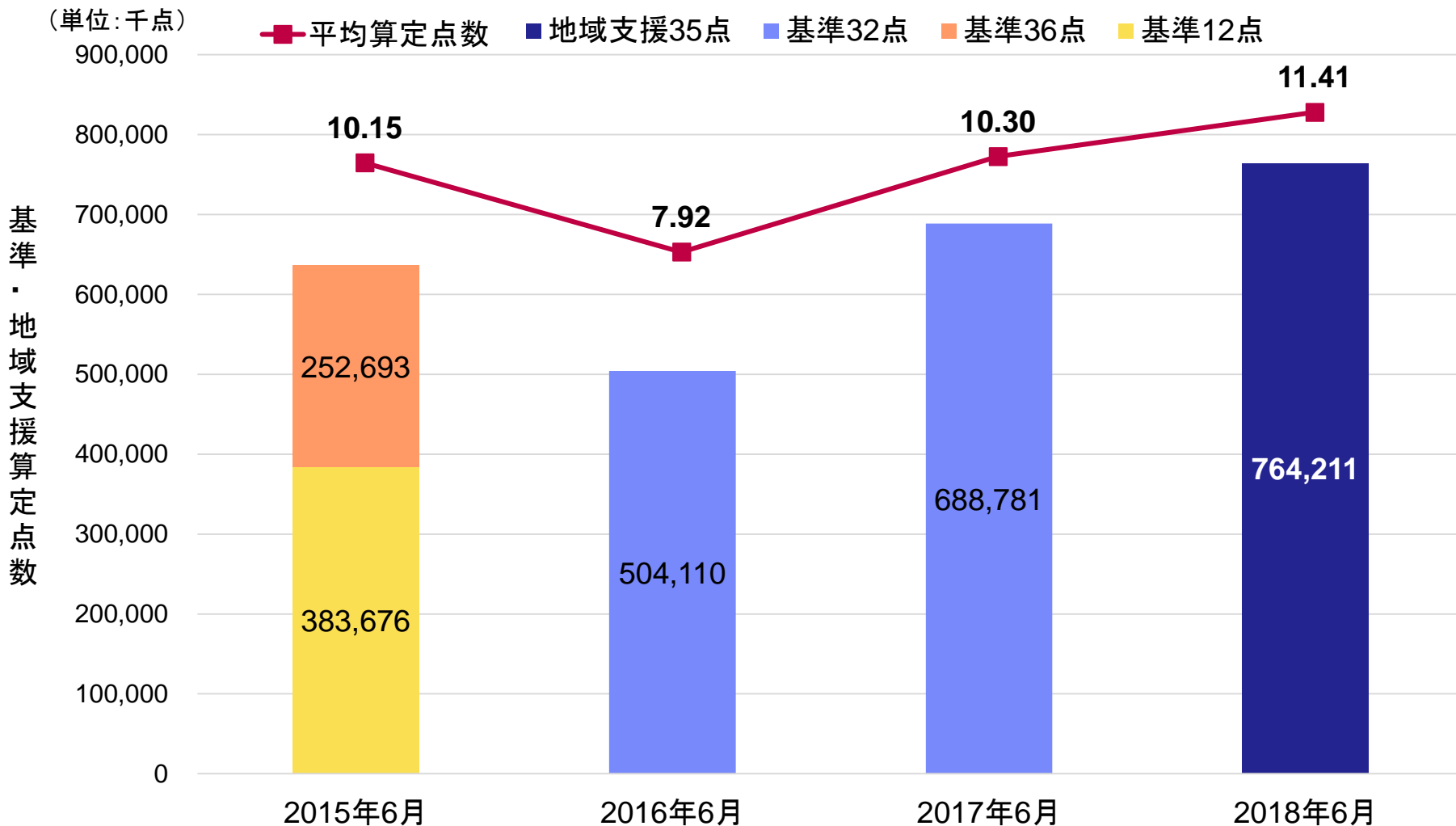
■ 地域支援体制加算 35点  
基本料41点の場合  
基準調剤加算の要件  
+プレアボイド報告実績 等

基本料41点以外の場合  
上記に加え、  
地域医療に貢献する体制を有する  
ことを示す相当の実績(8項目 1人  
当たり相当数実績)のクリア



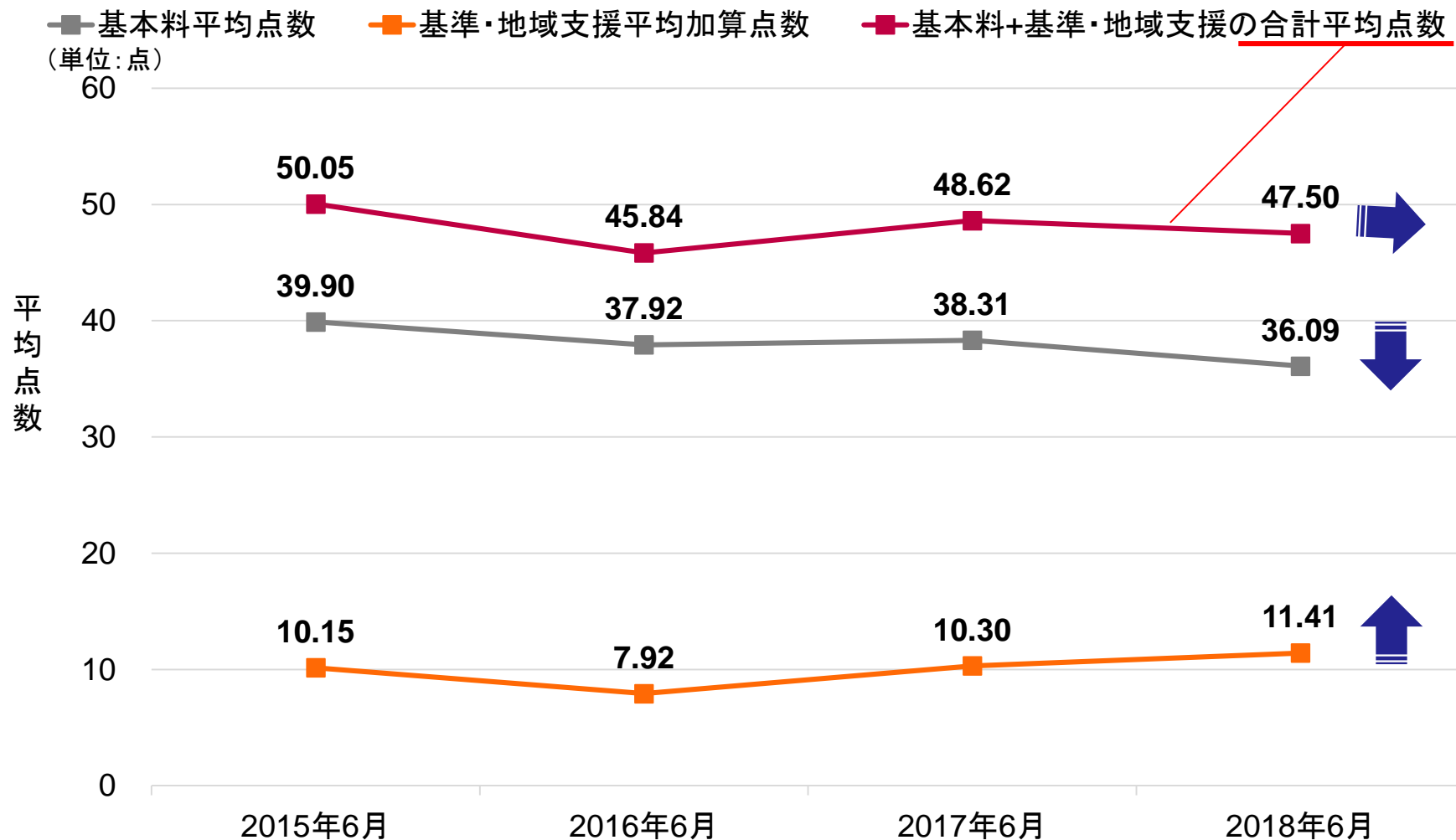
# 基準・地域支援加算点数の推移

要件を満たす薬局が増えたこと、点数が上がったことで、調剤基本料1の薬局において基準・地域支援体制加算の算定が進み、平均点数は上がっている。



# 平均点数の推移 1

平均点数の推移をみると、調剤基本料の減点分を基準調剤や地域支援体制加算で補うような推移となっている。



# 平均点数の推移 2 - 調剤基本料別 -

調剤基本料別にみると、調剤基本料1の薬局に手厚く、それ以外の薬局では報酬が抑えられている。

■ 基本料+基準・地域支援の合計平均点数   ■ 基本料1の合計平均点数   ■ 基本料1以外の合計平均点数

